

リリース発表

インフォシスの取締役兼北米代表兼製造業エンジニアリング・サービス事業部グローバル・ヘッド、アショック・ベムリ退職。製造事業部グローバル・ヘッドの後任にサンジェイ・ジャロナが就任。

2013年8月28日バンガロール：取締役のアショック・ベムリがインフォシスを退職することになりました。アショックは過去15年間、インフォシスにとって欠くことのできない存在であり、金融部門および製造部門、さらに北米地域における市場開拓において重要な役割を果たしてきました。当社はアショックに対し、様々な役職において当社の発展に貢献してきたことを深く感謝するとともに、これからの前途を祝福したいと思います。引継ぎについては既に計画されています。現在、北米製造部門の統括責任者であるサンジェイ・ジャロナが、インフォシスの製造業部門のグローバル・ヘッドに就任します。

インフォシスについて

インフォシスはコンサルティング、テクノロジーおよびアウトソーシング・ソリューションのグローバル・リーダーです。次世代型企業の構築において実績あるパートナーとして、30か国以上のお客様に対して、競争を勝ち抜きイノベーションの最前線の位置を確保できるように支援を提供しています。年間の売上高74億ドル、従業員15万5千人を誇るインフォシスは、将来を見据えた戦略的なインサイト(洞察)をお客様に提供しています。モビリティ、持続可能性、ビッグデータ、クラウド・コンピューティングなどに関する戦略的コンサルティング、運用上のリーダーシップ、ブレイクスルー・ソリューションの共創を通じて、変化の激しい世界における企業の変革と成功を支援します。

インフォシス(NYSE: INFY)がどのように次世代企業を支援しているか、弊社サイトをwww.infosys.com/jpをご覧ください。

セーフハーバー条項について

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のあるIT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2012 年会計年度(2013 年3 月31 日付)年次報告書(Form 20-F)や2013 年第1四半期(2013 年4 月ー6月期)四半期報告書(Form 6-K)を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.govでご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先
インフォシス日本支店
安藤 穰
Email: jo_ando@infosys.com